

town topics

まちの話題

このコーナーは、町の話や活動などを紹介しています。情報があれば、市役所秘書広報課まで。

☎ 22・3111 内線 207



西脇小学校はコメの売上金を寄託

売上金を東日本大震災被災地へ…

3月12日・18日 西脇市役所

西脇小学校3年生の児童がアイガモ農法で育てたコメの売上金を東日本大震災の義援金にと市役所を訪れました。3年生75人で栽培収穫したコメ210kgを校内音楽会で保護者向けに販売しました。「困っている人に少しでも役立ててもらえれば嬉しい」と森井実夢さん。また、楠丘小学校児童会もアルミ缶回収や金ゴマ栽培で得た収益金を合わせて復興支援にと寄付をされました。



西脇幼稚園児らが市花「しばざくら」を植栽

花と緑いっぱいのまちに

3月9日 北はりま田園空間博物館

花と緑豊かなまちづくりの一環として「第4回緑花祭」を開催しました。緑化に取り組む団体に「みどりの章」「市花と緑の協会賞」が贈呈（P20に掲載）されたほか、西脇幼稚園児らによるシバザクラの記念植栽も行われました。会場では市消費者協会などの協力で豚汁やぜんざいが振る舞われ、また、参加者にはシバザクラがプレゼントされました。

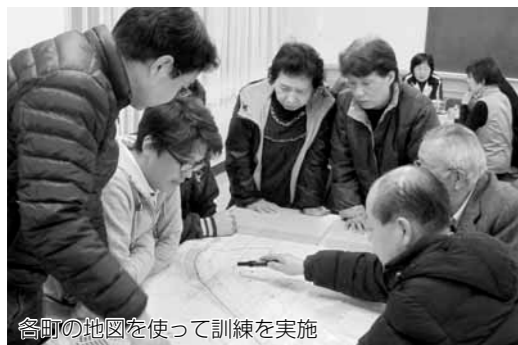


植樹したサクラに水分を与える日野小6年生の児童

日野地区をサクラいっぱいの名所に

3月6日 西脇北高校・日野小学校

「よいとちがうか日野の里推進委員会」は、平成22年から日野地区をサクラの名所にしようと取り組んでいます。今回は「日野の郷地蔵一本桜」と同じ遺伝子を持つ苗木を育て、西脇北高校と日野小学校に植樹。「5年後には立派な花を咲かせる」と樹木医の鶴田誠さん。3月20日には桜まつりが開催され、西脇ライオンズクラブから木の由来を記した石碑の寄贈を受けました。



各町の地図を使って訓練を実施

津万地区で防災図上訓練を実施

2月27日 大野隣保館

津万地区で始めてとなる防災図上訓練（DIG）が実施され110人が熱心に取り組みました（活き生きTUMA協議会主催）。各町の地図に支援が必要な方や高齢者世帯を落とし込む作業のほか、消防車が入れない狭い道の確認、浸水地域の把握などを行いました。また、災害が起こった際にはどう逃げるか、どのように行動するかを住民同士で話し合いました。



作品を制作した森脇友麻さんと藤原みわさん(左から)

西脇市駅の展示ケースに播州織を展示

～6月30日 西脇市駅

JR西脇市駅の展示ケースが模様替えされました。西脇高校の卒業生で、神戸ファッション専門学校に通う森脇友麻さんと藤原みわさんが、「未確認Creature（クリーチャー）」をコンセプトに播州織作品を制作。兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センターと共同開発した生地を使用し、派手な色や蛍光色を取り入れ、流行を意識した作品となっています。6月末まで。



播州織コレクションショー



24社の生地を展示



産地のシャツ展



協賛事業として行われたスタンプラリーの抽選

播州織総合素材展2013

3月7日～8日 西脇ロイヤルホテル・アピカホール

播州織の見本市「播州織総合素材展2013」が開催されました。西脇市や多可町から24社が最新生地を展示、「播州織コレクションショー」は多くの人でにぎわいました。播州織の生地をシャツに仕立てて人気投票を行う「産地のシャツ展」も好評を博しました。また、小篠ゆまさんと鷲本春香さんのトークショーがあり、西脇TMOが中心の協賛事業も素材展開催を応援しました。



西脇中学校生徒会役員がしばざくら荘で寄贈

全校生の協力で車いすを寄贈

2月22日 老人保健施設「しばざくら荘」

西脇中学校では生徒会活動の一環で、アルミ缶回収を年3回実施し、その収益で車いすを1台購入。夏祭りに参加し交流を深めているしばざくら荘に寄贈しました。福永秀行施設長は「高齢者への思いやりを忘れないでほしい」と述べ、福祉委員長の筒井愛さんは「私たちの思いが詰まった車いすを利用してほしい」と全校生の思いを伝えました。



シバザクラを植える西脇区まちづくり委員会のメンバー

市花「しばざくら」で童子山を美しく

3月17日 童子山公園

西脇区まちづくり委員会では、まちづくり計画の実践のひとつとして、童子山公園内に手作りの『しばざくら花壇』を整備しています。童子山公園は、市の木「さくら」と市の花「しばざくら」が同時に観賞できる絶好のスポットです。今年も多くの方に一面に広がる美しいシバザクラをぜひ見ていただこうと、植付作業が行われました。